ロスプリベンションへの道4 協働防犯（2）

公正としての正義の実践！推奨顔認証試験と科学保安講習等

NPO法人 全国万引犯罪防止機構

万引ストップ!! 会員の証 全国万引犯罪防止機構

読売新聞4月22日1面記事「AOKI前会長ら3人有罪」報道に思う

34年前、パリ経由でミラノの空港に降りたったとき「経済民主主義の実現とは、今までは王侯貴族しか着れないようなオシャレで縫製の確かスーツを普通のビジネスマンが何着も買えるように、人生を豊かに楽しんでもらうことだ。ハードな仕事だがそれが私のロマンだ」とこの方は言い切った。さらに「そのためにはチェーンストア理論の実践と最先端のファッション研究と製販の垂直統合が不可欠だ」とも熱く語っていた。

その10日後、ロンドン経由でNYのメトロポリタン美術館に行った際、帰りのチャーターバスの中で「何を学んだか?」と聞かれた。それに答えると「3つとも面白い視点だ。夜の食事会の時に続きを聞かせてくれ」と肩を叩かれた。帰国後、人事部教育推進課の配転となった。この方の隣りの部屋だった。まだ25歳だったが新人研修から中堅幹部の研修を担当させていただいた。新大阪に向かう新幹線で、ホカホカの駅弁を遠くのグリーン車から一般車まで私のために持ってきてくれた。それも5つも?

そして、この方は自ら笑顔訓練やクレーム対応の講師を務めた。視察のマニラから帰国する機内で、幹部向けの新たな教育プログラムを熱心に聞いてくれた。全社員の365日毎日少しずつ学ぶ『5分間勉強会』も実現した。震災の際、1万着の防寒着を届ける「一心太助」な人であった。

まる10年勤め退職した際、自宅に届いたこの方の手紙には「学びたいことを学んだら、帰って来なさい」ということが書いてあり、志が同封されていた。4年前、ペガサスの年始政策セミナーでお会いした際「ウチを辞めて何年になる…。いつ戻ってくるんだ…。そうか、お前も会長か。同じだな。アハハ」と笑顔で別れた。この方には、今もって何の恩返しも出来ていない。この方はそれを望む人でもない。

私は誰一人取り残さず、不平等の再生産・拡大を許さない「公正としての正義」を実現したい。それに向けて、みんなが自分の意見が言え、それが反映されるという公正としての民主主義をメンテナンスしていくには、基盤となる経済民主主義の実現と防犯民主主義の実現の両輪が重要だと考える。読売新聞に掲載されていた前会長の優しい笑顔の写真を見ながら、この方への恩返しのためにも、公正としての正義の実践、防犯民主主義実現に尽力しなければならないと誓った。

工業会JEAS第1回理事会の様子

JEASは4月20日（木）の理事会で新たに2社〈新規加入:(株)サイエンスアーツ、賛助会員から正会員への変更:(株)JSS〉が承認され、正会員数40社となった。総会議案書(案)で組織、損益、事業計画が確認された。その中でも重要なものとして、①通常総会の内容、②第4回推奨顔認証システム認定制度、③第3回科学保安講習会の確認が行われた。認定「推薦製品」No.003として、環境センサー搭載のクラウド型カメラにより各種の分析ができる『Verkada（ヴェルカダ）』の承認が行われた。

理事会の『15分勉強会』で、エイジス社の『Break Fix』(https://www.ajis.jp/lp/roumdaintenance/)を真剣に学ぶ36人の瞳を見ながら、こうやって同志たちと工業会としての社会的活動が実践できることに深く感謝した。

写真はネクストウェア(株)取締役 執行役員スマートビジネス営業本部本部長 及びOSK日本歌劇団 取締役 監様の理事会での挨拶の様子である。なお、この秋のNHK連続テレビ小説『ブギウギ』は、OSK日本歌劇団卒業生の笠置シヅ子さんがモデルである。激動の戦後をシングルマザーとして生き抜いた笠置シヅ子さんに思いを馳せ、そして、コロナ禍を頑張った自分たちへのご褒美にOSK日本歌劇団の劇場公演を皆で観劇したい。

クラウド型 統合セキュリティソリューション『Verkada（ヴェルカダ）』
https://www.takachiho-kk.co.jp/prod/enterleave/verkada/

①工業会JEAS通常総会・記念講演の案内
担当：総務委員会
案内

通常総会・記念講演会は16時にお開きとなり、16時半には有志メンバーは牛久フェニックスバスに乗り込み、生命の山、筑波山に向かう、老舗旅館江戸屋に一泊し、翌朝、霊験あらたかな筑波山神社に「JEAS創立22周年の記念」の参拝をし、それから女体山に登る。山頂についたら、関東平野、その先の富士山を眺めながら「どうするJEAS」「どうする○○」と言ってみようと思う。

Web入力

②第4回推奨顔認証システム認定制度
担当：カメラ画像安全利用推進委員会
案内

毎回の理事会・意見交換会にて、参加者には最低1回は発言するよう求める。「いつもの無茶ぶり」と参加者はプンプンするがお構いなしに指名していく。でもみんな楽しそうに目を輝かせて話す。

前回の理事会では「ウチの営業が大手小売業様から推奨顔認証を指定されたので、それは何ですか?と尋ねてきたので推奨顔認証システムのガイドラインを教えた…」と山本ワーキング長が話し、皆で大笑いした。努力が花になろうとしていた。

③第3回科学保安講習会
担当：科学保安講習プロジェクト
案内

それぞれ各委員会で練られた内容である。重なり合うコンセンサスが会員の中から広がり始めた。それを活かすのためにも「公正として正義」を重んじていきたいと思う。

ジョン・ロールズの「重なり合うコンセンサス」【協働】

2008年に初めて万防機構の講師となったときから、「公正としての正義」を掲げ、万引問題の加害者、被害者、対策者、傍観者のすべての共通善に響くように心がけてきた。それは万防機構の初代理事長の河上和夫氏は「正義の実現」にこだわり続けた人であったからだ。河上先生は『店舗側の安全や資産管理の権利』と「個人のプライバシーの権利」と「正義をまっとうする権利※」が、それぞれ尊重されるよう、観念論だけではなく、それぞれ対象となる方々のご意見を基に、関係機関との連携を図りながら、公の場で議論を重ね、「重なり合うコンセンサス」「協働」を見つけるように」と言われていた。その文面に感動し「ぜひ、河上先生の墓参りをさせて欲しい」という警備会社社長さんもいたくらいだ。

河上先生が学んだハーバード大学のジョン・ロールズ教授の著書にも「重なり合うコンセンサス」「協働」という言葉がよく出てくる。まずはその箇所をご紹介したい。

※「正義をまっとうする権利」とは犯罪企図者に犯罪をさせない・繰り返さない・家族を不幸にしないという権利のこと。

共に生きる（公正としての正義）

万防機構の創設の理念を継承するため万防機構の講師に立ったときから、この画面を結びに使っている。

日常の中の「公正としての正義」を見ても忙しさや無関心で、心が動かないことが多い。それは言い訳だと深く反省している。その反省の念で書いた二つの投稿を紹介したい。

特に最初のゴミを拾う少女のような人を私は「一心太助」と呼んでいる。「一心太助」とは兄貴肌の江戸の魚屋一心太助が人々のために知恵と度胸と体を張って悪に立ち向かう物語のこと。いまだコロナが収束していないなか、素手で缶を拾いあげる少女の姿に一心太助を見た。そう、一心太助は今も生きている。「公正としての正義」がこの社会を支えている。

先ほどの話の続きだが、目の前のゴミを一つ拾ったところで、社会・政治は変わらないし、だいたい、それは○○の仕事だから自分には関係が無い。と地域社会との接点を自ら切っていく、あるいは目をそむける事例の方が多いのではないかと思う。でも、本当にそれでいいのか?と疑問を持つところから防犯民主主義が始まるような気がする。

なぜなら、地域防犯や店舗のロス対策はそれ自体に意義があるからだ。これは参加の義務だという意味ではない。参加を通じ、人間のもって生まれた素質や能力を理想的な姿にまで形成すること、つまり「陶冶（とうや）」に意味があるのである。私人としての個人が、社会活動や自治に参加することで、公共的な問題を実際に理解し、それを自分の問題として自覚するとき、協働作業を実践するとき、我々は市民としての職業専門家になるのである。目の前のゴミを一つ拾うことには大きな意味がある。だって、あなたの心の中にも「一心太助」がいるのだから。

追伸：

①こんな話を取り上げてくれる読売新聞や朝日新聞の中にも「一心太助」がいる。実は両新聞も初めての投稿だった、拙文を読みやすいように手直していただいた。感謝。

②今回の号では'21放送大学教材「市民自治の知識と実践」より、山岡龍一教授が書かれている内容を参考にさせていただいた。

工業会日本万引防止システム協会令和5年度通常総会開催概要
西暦2023年度
…ロス対策・パラダイムシフト＊つながる心が生む新世界～協働防犯～…

- 日時　2023年6月2日（金）13：00～（受付開始12：40）
- 主婦会館プラザエフ　第1･2部　9Fスズラン　第3部　8Fスイセン
- 第1部　総会　（13:00～13:45）　<9階スズラン>
  1．開会
  2．会長挨拶
  3．議長選出
  4．議案
  第1号議案：令和4年度事業報告、収支決算の件
  第2号議案：推薦製品制度の発令、推薦製品の紹介
  第3号議案：令和5年度組織・人事の件
  第4号議案：令和5年度事業計画、収支予算の件
  新役員挨拶、新会員への会員証授与、記念写真
  5．閉会　（13:25頃を予定）
  6．推薦製品認定制度やセルフレジ対策進捗の報告
  7．感謝状贈呈
  株式会社三宅 代表取締役社長 三宅 正光 氏（JEAS副会長）
  一般財団法人流通システム開発センター元調査部長 佐藤 聖 氏（JEAS顧問）
  北海道大学　准教授　日景 隆 様
  ひかり総合法律事務所 弁護士 板倉 陽一郎 様
  8．来賓挨拶
  総務省　総合通信基盤局　電波部電波環境課　課長補佐　藤原史隆 様
- 第2部　記念講演会　（14:00～16:00）　<9階スズラン>
  特別講演のテーマ：ICT教育を小売業全体で実践！そして宇宙への道
  1．“学校教育の未来とICT活用＜仮題＞”
  神奈川大学附属中・高等学校副校長
  宇宙エレベーターロボット競技会実行委員長　小林道夫 様
  2．“小売業のチェックアウト改革と防犯・ロス対策のチャレンジ＜仮題＞”
  一般社団法人リテールAI研究会 理事　株式会社Retail AI 兼　株式会社トライアルホールディングス エグゼクティブアドバイザー　西川晋二 様
  3．来賓挨拶　個人情報保護委員会事務局　企画官　大星光弘 様

※諸般の事情により、内容や発表順が変更となる場合があります。

顔認証システムを製造・販売する企業の皆様へ

第4回 小売業向け万引防止用「推奨顔認証システム制度」について

本制度の目的
推奨顔認証システム制度は、個人情報保護法を順守し、その運用が満足できるシステムを推奨します。推奨基準では、小売業の利用者が目的に合う使い方ができるように取扱説明書の記載内容を明確に指示し、個人情報の保護に関する法律に関して「カメラ画像の利活用を行なう際に注意する点を考慮」等の記載があり、性能面では誇大性能表示にならないように測定方法を明確化することなどを決めています。
顔認証システムに必要とされるシステム性能の基準を策定し、その基準に適合した機器を「推奨顔認証システム」と認定することにより、メーカーは優良な顔認証システムの開発及び小売業に安心して、ご利用いただき普及促進を図る自主認定制度です。本制度により、安全なシステムの提供と運用をセールス活動に利用し、市場が拡大することを期待します。
推奨の意味
当工業会は、顔認証システムの性能が実際にシステムを使用する際、効果的、有効であるか否かの視点で「推奨」の基準を定めています。例えば、顔認証システムの基準策定の根本には以下のような考え方があります。万引抑止・犯罪抑止の対処に関する用途に“効果的に機能”するために、最低限必要とされる機能・性能・運用などに関し活用される視点で審査し、基準を満たしているシステムを「推奨」とします。
システム認定基準、運用認定基準とは
小売業向け顔認証は、システム認定基準と運用認定基準を審査する認定制度です。システム前提審査では、申請書等、申請機器の標準構成、環境試験に関する申告事項、構造・表示の申告事項と、必須事項である共通機能などをすべて満足するかを審査します。運用認定基準では、関連する法律などを鑑み、システムがその運用を満足する機能を有するか審査します。
審査費用
審査対象システムは、基本ソフトウェアが同一システムであれば費用は一システムとカウントします。バージョンアップは審査不要、但し、分析ソフトなどの基本システムについて、別の開発会社のものを使用するなどの大幅な仕様変更があった場合は再申請となります。カメラ一体型システム等でカメラが別機種などは要相談とさせていただきます。費用には認証発行費用を込む、自社カタログなどの記載利用権含まれます。
当協会会員　200,000円（税別）/　賛助会員　300,000円（税別）/会員外　400,000円（税別）
なお、認定取得したOEM製品については、取り扱い説明の異なるものは別のものとします。
審査日スケジュール及び会場について
（1）申込み受付期間　2023年5月8日（月）～8月25日（金）
（2）試験期間　2023年9月4日（月）、6日（水）～8日（金）提携先会場（所在地：千代田区）
（3）認定推奨システムの公式発表　2023年11月16日（木）　第3回科学保安講習会会場にて
具体的な審査内容
推奨顔認証システム制度審査申込いただいた皆様には本試験のガイドラインをお送りします。
そちらの試験実施内容をご確認ください。2021年度よりマスク着用試験が加わっております。
推奨顔認証システム認定制度のマーク
JEASの基準に合格したシステム機器を、「推奨顔認証システム」とし、推奨機器に添付できるシンボルマークを発行させていただきます。
推奨顔認証システム制度のマークが、安全・安心を示すシンボルマークになるように努めてまいります。
シール価格：正会員　1枚70円　（送料・税別、100枚単位）
賛助会員　1枚70円　（送料・税別、100枚単位）
会員外　1枚140円　（送料・税別、100枚単位）
本制度運営
工業会　日本万引防止システム協会　カメラ画像安全利用推進委員会。

ＪＥＡＳ会員、関係各位

工業会　日本万引防止システム協会
会長　稲本　義範
科学保安講習会プロジェクトリーダー　青柳　秀夫

拝啓　時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

工業会 日本万引防止システム協会 主催「第3回科学保安講習会」ご案内

さて、工業会 日本万引防止システム協会では、一昨年・昨年に続き第3回科学保安講習会を開催します。この講習会は、カメラ画像安全利用推進委員会と保安会社メンバーが立案し、当工業会が推奨する安全・安心の顔認証システムを活用し、効果的に安全に保安業務が遂行できるようになることを主眼に置いています。さらに、JEAS認定個人情報保護団体ページの各冊子を正しく理解しながら、防犯情報の活用と防犯会議の進め方を学ぶことで、ロス対策業務の水準向上と生産性向上の両立性を目指しております。

本講習会に、保安警備・施設警備・それらの運用サポートに携わる皆様が受講していただくことで、ご利用ユーザーのご満足度向上につながることを願っております。会場参加に加え、TV会議（Teams）での参加をご用意しました。

多忙の中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、お申込みくださいますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

「第3回科学保安講習会」概要

1．目的
JEAS推奨顔認証システムを使って、効果的に安全に保安業務を遂行（分析や会議報告も含む）できるようになる。併せて、JEAS認定個人情報保護団体ページの各冊子を理解していただくことを目指します。
2．日時と会場
日時：11月16日（木）13:00～17:00
会場：YOTSUYA TOWER 7階　高千穂交易㈱　セミナールーム　または　Teams参加
3．対象者：　保安業務、施設警備業務、防犯・総務系業務、ＬＰサポートに関わる方々
4．参加人員：　30名　①希望者多数の場合は正会員優先とさせていただきます。
②対象者がいる会員は可能な限りご参加をお願いします。
③原則、キャンセルが無いようにしてください。
5．参加費用：JEAS会員企業・・5,000円税込/人、JEAS会員企業外・・10,000円税込/人
6．お振込先：11月14日（火）までにJEASの口座に参加費用をご入金ください。
みずほ銀行四谷支店　普通預金 1956196　工業会日本万引防止システム協会
7．修了証発行（JEAS登録番号入り）・・名刺サイズ　イメージ
8．ご不明な点はJEAS事務局までお願いします。
℡03-3355-2322
尚、参加お申し込みを別添申込用紙にて11月14日（火）までにE-mailまたはFAXにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。
9．本講習会は、(一社)全国警備業協会発行の「保安警備業務の手引 第2版」を理解している方々を対象としています。本研修会参加者は、「保安警備業務の手引 第2版」※をお携いただくとともに、まだ理解不足を思われる方は、10月19日(木)14:00～16:00に同会場及びTeamsで開催される第3回「保安警備業務の手引第2版」講習会にご参加ください。（無料）
正担当 プロジェクトリーダー 青柳講師（㈱日本保安 代表取締役社長）
副担当 プロジェクト技術スキル向上WG長 林講師（㈱JSS第1保安警備事業部部長）
※テキストの注文は別紙の発注書参照のこと

全国万引犯罪防止機構（通称：マンボウ）
万引撲滅のための戦略を本気で提言・実践する小売業界を中心に組織化されたNPO法人
文：事務局（稲本義範）

共に生きる
（公正としての正義）

- 万引きという反社会的な行為に対して、1人1人が出来ることには限りがあります。しかし、それぞれがその限りを尽くすことで改善できることも多いのです。
- この社会は誰かの為にあるものではありません。共に生き“人と人との絆”を紡いでいくためにあるのです。この“命のあるべき姿”※を体感していくことが“生きる力”になります。
- 最終的には「万引きは法律で罰せられるから損」という利己主義的人間形成を目指すのではありません。万引犯罪が自分の街の大切なお店を苦しめ、そこの従業員さんたちの生活を脅かし、そして自らの人間としての価値を貶めているのだと、“心の痛みとして受け止めることができる人材”の育成こそが万引犯罪防止対策の真の目的なのです。

※本来‘人’は多くの人と対話し、助けあうことで生活が成り立ち、人の輪の中で幸せを感じます。そういう温かな心を持った人が正義の人になります。

ゴミ拾い 進んでやりたい

会社員　稲本　義範　59　（茨城県牛久市）

電車内でコーヒーの空き缶が床に転がっていた。電車の揺れで転がる度、乗客たちは嫌そうな表情で足を上げてよけていた。拾いに行きかけたその時、小学校低学年くらいの女の子が拾い上げ、そのまま下車した。見守っていると、女の子はホームにゴミ箱がないのを確認すると階段を下りて改札の横に設置されたゴミ箱に捨てたのだ。

空き缶を素手で拾うとはかなり勇気がいったことだろう。その後に参加した地域の会合で話題にし、「我々も見ならいたいね」とうなずき合った。皆の嫌がるようなゴミでも率先して拾っていきたいと思った。

2023年4月12日（水）読売新聞「気流」

立哨当番 長い間お疲れさま

会社員　稲本　義範　（茨城県牛久市　46）

出がけに妻が「今日がいつこの立哨当番なの」と話しかけた。そうか、と言い残して私は家を出た。

気づけば三人の息子たちは、もう高2、中2、小6。駅に向かって自転車をこぎながら、彼らの幼年時代のことを思い出した。抱きかかえたり子どもは大きくなっていった。

ふと大切なことを言い忘れたことに気づき、来た道を引き返す。

交差点では、立哨当番のお母さんたちが黄色い小旗をもって小学生を誘導している。集団登校の中には、話しに夢中になっている子や、うつむいて歩いている子もいて、そんな子どもたちにお母さんたちは「おはよう」と声をかけていた。

中には幼児をおぶった若い母親もいた。雨の日もおぶって立哨するのか?

昔、妻はどうしていた?思い出せない。

向こうの信号機の前では男性が立哨していた。男性は笑顔で子らを見送っている。同じ父親でも1回も立哨しなかった私。後悔のペダルをこいでいると、妻の顔が見えた。

妻は不安そうに「忘れものした?」。私は「うん、そう。立哨お疲れさまでした」。妻のほおが寒さで赤くなっていた。

2010年1月31日（日）朝日新聞「声」